

| | | | |
|---|---------|----------------|---|
| 地区名 | 陶地区 | 番号 | 1 |
| タイトル | 学区制について | | |
| ご意見の内容 | | | |
| <p>学区制について統合そのもののあり方を考え直してほしい。その前に市長からトップダウンで実行して欲しいことがある。現在、第6次瑞浪市総合計画の反省をしていると思うが、瑞浪南中学校を統合して結果的にどうであったか、親御さんやPTAの方たちにミーティングやワークショップを開いて実際の声を聞いてもらいたい。今後の学区制について、統合すること1本という考えになると怖いので、実際に統合された親御さんたちの話を聞いてから、第7次瑞浪市総合計画に反映していただきたい。</p> <p>教育は投資であるため、子どもに対する投資が途絶えてしまえば自治会運営もできなくなり、陶に住むメリットもなくなってしまふ。陶にはひとり親のお母さんたちが多く、地域の地場産業やライフラインに関する場所に勤めて、陶の地域産業を支えてもらっている。統合となると、陶に住むメリットがなくなり、地域経済の打撃は計り知れない。これは住みやすい瑞浪に反することになる。スケールメリットということだけで統合に走らず、少数の中での教育、瑞浪が描いている子育てとはどういうものか、第7次瑞浪市総合計画の中で考えてもらいたい。</p> <p>統合施設の話もあったが、小・中一貫校にして地域に根付いた教育をするということもひとつの方法になる。市長が現場の意見を聞いた上で第7次瑞浪市総合計画の中に取り入れ、少数なら少数でできる瑞浪市の教育のあり方を策定するというのであれば、各部長も動きやすくなると思う。</p> | | | |
| 市長の回答 | 担当課 | 教育総務課 学校教育課 | |
| <p>考え方は同じである。今後、第7次瑞浪市総合計画の中に小・中学校の学区の見直しの検討について位置づけていくことを考えている。現状を検証・分析を行い、将来を見据える中で学区制のあり方をどうするか学区制審議会でもとめていく。その結果を私は尊重したい。将来のあり様を見据えた中でどういう方向がいいのかをまとめていただくために学区制審議会のメンバーを決めているところである。その場で今のご意見を言っていただけるとありがたい。</p> | | | |

| | | | |
|---|----------------------------|-------|---|
| 地区名 | 陶地区 | 番号 | 2 |
| タイトル | 高齢化と過疎化の進む自治会組織の役員のあり方を考える | | |
| ご意見の内容 | | | |
| <p>今年区長となり気づいたこととして、昨今の人口の減り方と高齢化の中で、各自治会が役員の改正など厳しい状況である。私も前任から引き継ぎ、当事者になってみると大変さを痛感している。区役員は単年で改正され、人口が減るにあたり区役員ができる人が減り、負担が増えていく。一般企業でも65歳まではフルタイムで働く状況であり、自治会活動に時間を使う余裕がない現状である。瑞浪市でガイダンスや相談窓口、現状がどうなっているか、他市、他の地域ではどうなっているかの情報が何も無いままに、初めての人がやる状況であるため、力を貸していただきたい。</p> | | | |
| 市長の回答 | 担当課 | 市民協働課 | |
| <p>瑞浪市全体、周辺部は同じような状況で前々から区や班、組の統合を相談いただいております。市民協働課が窓口となり動いている。市で協議、協力はできるが、自治会は自主組織であるため地域の方々の意見を尊重しなければいけない。</p> <p>瑞浪地区では、平成25年度に朝日町区が水の木区に編入し6班体制から7班体制となっており、平成29年度には4区（河南区、河塚区、河北区、河東区）が協議の末、統合を実現している。釜戸町においては、川戸区と神徳区の2つの区が統合のために段階を踏んで準備をしていたが、それぞれの区の財産の問題や取り決めのすり合わせがうまくいかず、結局のところ現在も2つの区が残っており、統合がうまくいかなかった例もある。</p> <p>私は、陶町と明世町は連合区として3区体制で運営しており、先進的な取組をしていると思う。区はいいとしてもその下の組や班がこの問題を抱えていると思うので、組や班の統合については市民協働課にご相談いただければと思う。</p> | | | |